

消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	術前化学療法を施行した切除可能膵癌についての検討
研究機関名及び 研究機関の長 (試料・情報の管理 責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	(担当科)消化器外科 (職名)助教 (氏名)篠原健太郎
試料・情報の利用目的 及び利用方法	〔利用目的〕 切除可能膵癌に対する術前化学療法の優位性が日本で行われた臨床試験において示されて以降、ガイドラインにおいても術前化学療法が推奨されていますが、その適応基準などはいまだ明確には決まっておりません。当院で術前化学療法の適応となった患者様の臨床情報を検証することで、術前化学療法の最適な適応基準について検証していきます。 〔対象となる患者さん〕 2021年8月から2024年12月までに切除可能膵癌と診断され手術適応となった患者さん 〔研究期間〕 研究実施承認日 ~ 2025年12月31日 〔利用方法〕 手術入院期間中の診療情報を参照させていただきます。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。
利用又は提供する試料・情報の項目	術前化学療法の有無、術前化学療法の完遂率、化学療法による有害事象、手術施行率、周術期合併症、長期予後について電子カルテ情報から検出します。
試料・情報の提供を行う機関の名称及びその長の氏名	【非該当】
提供する試料・情報の取得の方法	【非該当】
提供する試料・情報	【非該当】

を用いる研究に係る 研究機関名・研究責 任者名	
利用する者の範囲	【非該当】
試料・情報の利用又 は提供を希望しない 場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、2025年3月1日までに電話により下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 消化器外科 担当者:(職名)助教 (氏名)篠原健太郎 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311(内線 80377)